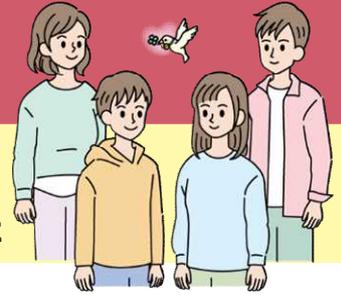


接種費用
無料

全額公費

新型コロナワクチン 追加(3回目)接種のお知らせ



**12～17歳の方も
3回目接種を受けられるようになりました**

◎**接種の対象** 新しく接種の対象になるのは、2回目のワクチン接種を終了した12歳以上の方です。

12～17歳の方のうち、
基礎疾患がある方などの「**重症化リスクが高い方**」は
特に接種をおすすめしています。

接種にあたっては、あらかじめかかりつけ医などによく相談してください。

※重症化リスクが高い
具体的な基礎疾患に
ついては、厚生労働
省「新型コロナワク
チンQ&A」をご覧
ください。



◎**使用するワクチン**

12～17歳の方は、ファイザー社のワクチンを使用します。1・2回目の接種量と同じ量を接種します。

18歳以上の方に用いているものと同じワクチンです。

※1・2回目に武田/モデルナ社ワクチンを受けた方も、ファイザー社ワクチンを受けられます。

新型コロナワクチンの 効果

- 1・2回目接種後、ワクチンの効果は時間の経過とともに低下していきませんが、同じワクチンを用いている18歳以上では、3回目の接種を行うことにより、オミクロン株に対する発症予防効果や入院予防効果が回復すると報告されています。

出典：UKHSA. Technical briefing 34. Jan 2022
UKHSA. COVID-19 vaccine surveillance report: 3 Feb 2022

- 16～17歳の場合では、オミクロン株流行期において、ワクチンの2回目接種後(14-149日経過後)は、新型コロナ感染症の様な症状のための救急外来の受診を34%減少させ、ワクチンの3回目接種後(7日以上経過後)は、同様の救急外来の受診を81%減少させる効果があったと報告されています。

出典：MMWR Morb Mortal Wkly Rep 2022; 71(9): 352-358

新型コロナワクチンの 安全性

米国では、12～17歳に対する3回目の接種後7日以内の副反応は、2回目の接種後と同様の症状が、同じ程度かやや高い頻度で現れると報告されています。

■ 12-17歳の接種後7日間に現れた症状

報告割合	接種後の症状(2回目→3回目接種後の症状)
50%以上	疼痛(76.0→80.0%)、疲労(58.7→58.5%)、頭痛(56.0→55.9%)
10-50%	筋肉痛(40.9→46.2%)、発熱(38.3→35.5%)、悪寒(27.8→32.6%)、関節痛(16.9→19.7%)、悪心(18.8→18.9%)、腫脹(14.1→18.8%)、発赤(8.4→10.2%)
1-10%	腹痛(9.3→8.5%)、そう痒(7.3→7.4%)、下痢(4.5→3.5%)、嘔吐(2.7→2.3%)、発疹(1.5→1.2%)

(※)登録数：3,418例(うち12-15歳：1,952例、16-17歳：1,466例)、報告期間：2021年12月9日～2022年2月20日

ごくまれですが、心筋炎を発症した例が報告されています。

出典：MMWR Morb Mortal Wkly Rep 2022; 71(9): 347-351

米国では、3回目接種後の方が2回目接種後よりも心筋炎の報告頻度は低いとされています。

出典：MMWR Morb Mortal Wkly Rep 2022; 71(9): 347-351

ワクチンを受けた後、数日以内に、胸の痛み、動悸、息切れ、むくみなどの症状がみられた場合は、速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。なお、心筋炎と診断された場合は、一般的には入院が必要となりますが、多くは安静によって自然回復します。